

アセットマネジメント部門

応募事例名

富田林市下水道管渠等長寿命化PFI事業 ～宅地内誤接続解消をめざして～

応募団体名) 大阪府 富田林市

PFIだからできる!! 効率的すぎる不明水対策を展開!!

Tondabayashi City

本事業の特徴(概要)

特徴一覧

- 特徴① 管更生工事に関わる調査・設計・施工**
 - 標準的な施工現場条件での工事等は提案単価×**出来高**にて支払いを行う
 - 施工現場条件が標準と異なる場合は、工事等の変更(差額単価)を別途定め、単年度実施計画を修正する
- 特徴② 宅内排水設備誤接続調査**
 - 単価契約に基づき、提案単価×件数により支払い額を算定する
 - 調査率が一定水準を上回る場合は、報奨金の設定を予定する → **不採用**
- 特徴③ 宅内排水設備誤接続解消工事**
 - 誤接続調査等との一体的な実施による効果を期待し、誤接続解消工事を付帯(民間)事業として実施する
- 特徴④ 実施計画と交付金申請・検査の関係**
 - 事業者は**自らで策定した計画**に基づき、交付金申請資料の作成補助を行う
 - 検査は単年度ごとに業務完了段階で一括して行う
- 特徴⑤ サービス購入料の支払い**
 - 交付金相当分は、交付金対象工事の出来高に応じた額(50%)を支払う
(国は単年度予算)
 - 市費負担分は、市の当年度支払い**限度額を上限**とし、工事等の出来高に応じた額(交付金対象出来高の約50%及び市単独事業の出来高)を支払う
(市は債務負担予算)

資料提供: 中日本建設コンサルタント株式会社・有限責任監査法人トーマツ

Tondabayashi City

本事業の主要条件

※交付金相当分(A-1)については、当年に決定された交付金額の範囲(年度計画内)の出発点に対して支払いを行う

大分類	小分類	概要
業務事業	1) 事業運営管理業務	義務事業の全体の運営管理を行うもの。全体実施計画管理、単年度実施計画作成及び単年度実施計画管理等を行い、事業全体の円滑な進行を図るもの
	2) ます及び取付管調査業務	事業対象地区のコンクリート製の取付管について、取付管調査用カメラを使用し、取付管内の状況を調査するもの
	3) 管更生建設業務	改善対象の管渠の内、更生工法を適用する路線(スパン単位を基本とする。)について、下水道本管を自立管により更生させる工事
	4) マンホール蓋取替工事	改善対象の管渠の内、更生工法を適用する路線(スパン単位を基本とする。)について、マンホール蓋を取り替える工事
	5) 誤接続調査業務	事業対象地区全域の排水設備について、汚水/雨水系統が正しく接続されているか確認する調査
付帯事業	1) 誤接続解消工事	誤接続調査業務で見えられた排水設備の誤接続を解消する工事を事業者の独立採算事業として実施する

サービス対価の支払い

大分類	小分類	概要
サービス対価の支払い	交付金相当分(A-1)	ます及び取付管調査、管更生設計・建設、マンホール蓋取替工事及び誤接続調査をPFI事業者が当該年度に実施した 出来高の市費負担分(交付金対象出来高の約50%)及び市単独事業の出来高 の内、市は市の当年度支払い 限度額以内 のPFI事業者へ支払う ※交付金相当分(A-1)については、当年に決定された交付金額の範囲(年度計画内)の出発点に対して支払いを行う
	市費負担分(A-2)	ます及び取付管調査、設計・建設、マンホール蓋取替工事及び誤接続調査をPFI事業者が当該年度に実施した 出来高の市費負担分(交付金対象出来高の約50%)及び市単独事業の出来高 の内、市は市の当年度支払い 限度額以内 のPFI事業者へ支払う ※交付金相当分(A-1)については、当年に決定された交付金額の範囲(年度計画内)の出発点に対して支払いを行う

資料提供: 中日本建設コンサルタント株式会社・有限責任監査法人トーマツ

Tondabayashi City

事業手法の検討について

【なぜ長寿命化PFI?】

- 市の財政負担の軽減や負担の平準化
- 効果的な老朽化対策**
- 将来的な経営状況の悪化に備え、管渠施設における改修需要の増加対策
- 技術職員の減少の対策

【なぜ不明水対策?】

(課題)

流域下水道に年間5億円負担金支払っており、うち1割の5千万円が不明水部分とされている。(市の財政を圧迫)

・不明水対策を管更生(工事)と宅地内誤接続解消(工事)の両面から実施

長寿命化、不明水対策
(侵入水の防止、誤接続解消業務)

残念ながら・・・
本市だけの取り組みだけでは、**負担金削減にはならない。**

https://www.city.tondabayashi.lg.jp

Tondabayashi City

下水道管渠長寿命化PFI事業導入タイムスケジュール

※スキーム検討から標準的な実施方針手続き等の作成までは、モデル事業として国交省発注業務で実施された。
※平成30～35年度の全体設計承認。

https://www.city.tondabayashi.lg.jp

PRポイント

PFIだからこそ市の事業で管更生工事を行いながら、

併せて個人負担の誤接続解消工事の実施可能!! ⇒ **効率的な不明水対策**

しかも、**助成金制度を導入**して不明水対策を**更に加速**!!

COMING SOON